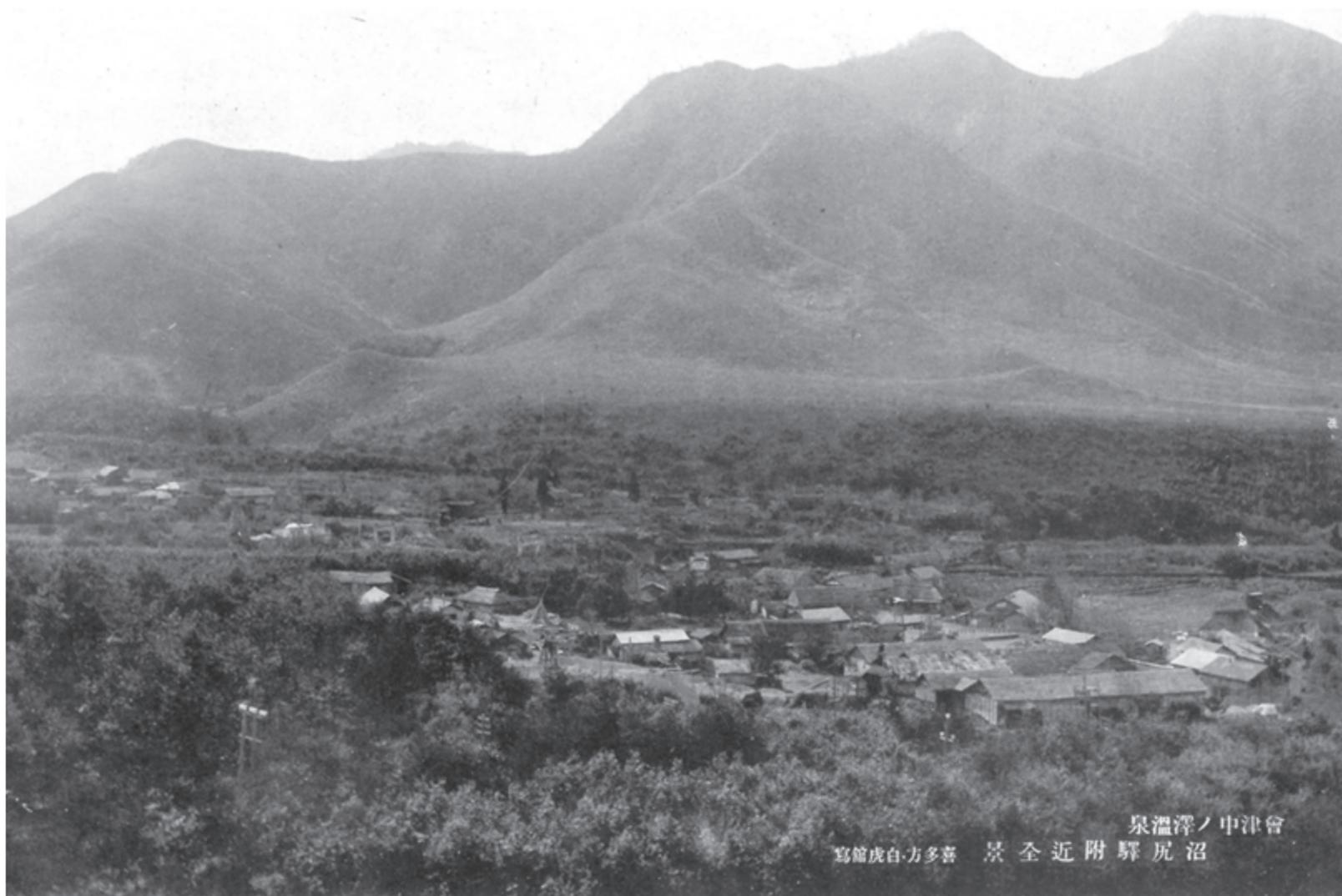


# 中ノ沢温泉

## 安達太良山麓に宿る鉱山の歴史を伝える温泉地

National  
Parks  
of Japan



中ノ沢温泉(福島県猪苗代町)は、安達太良山の西麓に湧く強酸性の硫黄泉で、湧出量は全国屈指を誇ります。源泉は山中の沼尻元湯で、江戸期から湯治場として親しまれ、多くの旅人や地域の人々を癒してきました。

明治・大正期には、源泉周辺に広がる沼尻鉱山が地域を支える産業となり、採掘された硫黄は沼尻駅から沼尻鉄道(沼尻軽便鉄道)によって川桁駅まで運ばれていました。昭和期に鉱山が衰退した後は、鉄道は観光路線として活用され、中ノ沢温泉を訪れる人々の往来を支える存在となりました。

また、中ノ沢温泉は湯治文化とともに伝統工芸「中ノ沢こけし」の発祥地としても知られています。こけしは湯治客のお土産として親しまれ、温泉街の暮らしや文化の一部として伝えられています。

現在は鉱山や鉄道の面影はほとんど残らないものの、人々の記憶や地域の営みの中に息づいています。豊富な湯と素朴な温泉街の佇まい、安達太良山の恵みとともに、湯治文化を今に伝えながら旅人を静かに迎える温泉地です。



出典: 会津若松市デジタルアーカイブ [画像(上)] = 昭和初期の中ノ沢温泉 / 沼尻駅周辺の街並み

特別保護地区 特別地域 普通地域 JR 私鉄 高速道路 観光道路